

NEWCASTLES OF THE WORLD ALLIANCE



Report

ニューキャッスル・アライアンス会議2018 開催報告書

10/3・10/9 2018

ニューキャッスル会議実行委員会

Contents

目次

開催趣旨・テーマ	01
全体スケジュール	02
市民歓迎セレモニー	
歓迎あいさつ(新城市長)	04
歓迎あいさつ(ニューキャッスル・アライアンス事務局代表)	05
来賓あいさつ(愛知県知事)	05
市民送別セレモニー	
来賓あいさつ(スイス駐日大使)	06
来賓あいさつ(衆議院議員 城内実氏、衆議院議員 今枝宗一郎氏)	07
次回開催都市市長あいさつ(スイス・ヌシャテル市長)	08
閉会あいさつ(ニューキャッスル・アライアンス事務局代表、新城市長)	09
ディスカッション	
代表者会議	10
会議 一般の部(文化)	11
会議 一般の部(観光)	12
会議 一般の部(教育)	13
会議 一般の部(経済)	14
会議 ユースの部(アプリ開発)	15
共同声明	
原文	16
和文	18
プログラム紹介(Day1～Day7)	19
市民参画者数	30
加盟都市一覧	31
加盟都市紹介	32
外国人参加者紹介	36
協賛企業・協力団体一覧	38
関連企画紹介	39
組織体制図、実行委員会及び市民プロジェクトチーム会議開催日程	43
メディア取り上げ件数	44
ニューキャッスル・アライアンス会議 20年のあゆみ	45



「世界大交流時代における世界新城アライアンス会議」

文化、観光、教育、ビジネスにおける新たな協力と交流とそのつながりを深める。

開催趣旨

世界各地には100以上の異なる「ニューキャッスル」というまちが存在します。新城市が世界の「新城」に呼びかけ、1998年に第1回ニューキャッスル・サミットが新城市で開催され、8つの都市が参加しました。

その後も2年に1度、各都市持ち回りで開催され、2008年にドイツでの会議から市民も参加することができる現在の形である「アライアンス」会議に発展していきました。過去には、少子化や高齢化、中心市街地の空洞化や若者の流出、働く場の確保など、多くの共通する課題について参加都市相互の発展につながるよう意見交換をするとともに、友好関係を深めてまいりました。

今回のニューキャッスル・アライアンス会議2018では、「文化」「観光」「教育」「ビジネス」の4つの分野において、世界大交流時代におけるこれらの問題点や課題を共有し、その解決策や行動計画について議論しました。世界の「新城」で繋がった都市の絆と交流の意義を再確認し、今後、このアライアンスが果たす役割と可能性をさらに深め、行動につなげてまいります。

- 主 催 新城市
- 共 催 新城市国際交流協会
- 後 援 外務省、愛知県、日本貿易振興機構(ジェトロ)名古屋貿易情報センター
東三河広域経済連合会、豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村
- 会 場 新城文化会館(愛知県新城市字下川1-1) ほか



全体スケジュール

Day 1 10月3日 水

- 各都市来日
- 東三河散策
- 代表者会議①(19:00~20:00) 会場●湯谷観光ホテル 泉山閣

Day 2 10月4日 木

- 09:30 市民歓迎セレモニー 会場●新城文化会館 大ホール
司会●原田佐知子、熊谷侑子(Tees 市民ナビゲーター)
挨拶●新城市長 穂積亮次
ニューキャッスル会議実行委員会 委員長 田村太一
ニューキャッスル・アライアンス会議事務局 ゼリー・ゲリン 氏
愛知県知事 大村秀章 氏
内容●各都市代表団からの都市紹介
舟着小学校、鳳来寺小学校による合唱や舞のおもてなし
ニューキャッスル吹奏楽団による生演奏
- 12:00 世界のニューキャッスル料理 会場●新城文化会館 はなのき広場
世界のニューキャッスル料理を豊橋調理製菓専門学校の協力のもと提供しました。
市内全小学校(13小学校)の6年生と交流しました。
- 14:00 ディスカッション① テーマ●文化 会場●新城文化会館 大ホール
過去20年間の振り返りと今後の文化交流
- 16:00 ジャパニーズフェスティバル 会場●新城文化会館 展示室
日本の文化を体験できるイベントで、書道、墨絵、剣玉、折り紙、篠笛、琴などの
体験ブースを設けました。
- 19:00 歓迎パーティー湯谷ナイト 会場●湯谷温泉

Day 3 10月5日 金

- 体験ツアー ●奥三河ビューティーツアー
- 09:00 新城出発
 - 10:00 三信鉱工
 - 12:00 廃校レストランランチ
 - 13:00 花祭り体験
 - 16:00 新城到着
- 京都ツアー
- 新城スペシャルツアー
(四谷の千枚田、阿寺の七滝、五平餅体験) ※台風24号の影響により中止
-

Day 4 10月6日(土)

- 09:00 ディスカッション② 【一般の部】 テーマ●観光 会場●愛知県民の森
 【ユースの部】 テーマ●アプリ開発 会場●愛知県民の森
- 13:00 東三河体験ツアー ●酒づくりコース(関谷醸造)
 ●侍コース(設楽原歴史資料館)
 ●バスケット観戦コース(豊橋市総合体育館)
 ●ネイチャーコース(鳳来寺山散策) ※台風24号の影響により中止
- 18:00 東三河経済交流会 会場●ホテルアークリッシュ豊橋
 市内企業をはじめ、東三河企業と海外からの参加者がビジネスをテーマに交流

Day 5 10月7日(日)

- 09:00 ディスカッション③ 【一般の部】 テーマ●教育 会場●新城市役所 会議室
 【ユースの部】 テーマ●アプリ開発 会場●つくで交流館
- 13:00 【一般の部】 代表者会議② 会場●新城市役所 政策会議室
 ※代表者会議に出席されなかった方は富永神社例大祭を見学しました。
 【ユースの部】 つくりんピック開催 作手地区の住民とユースの部参加者がスポーツ交流
- 18:00 富永神社例大祭●手筒花火見学

Day 6 10月8日(月祝)

- 09:00 ディスカッション④ 【一般の部】 テーマ●ビジネス 会場●新城文化会館 大会議室
 【ユースの部】 テーマ●アプリ開発 会場●新城文化会館 301講習室
- 12:00 日本の料理
- 13:30 市民送別セレモニー 会場●新城文化会館 大ホール
 司会●小林宏之(ふるさと応援大使)、花島志保(Tees市民ナビゲーター)
 挨拶●スイス駐日大使 ジャン=フランソワ・パロ 閣下
 衆議院議員 今枝宗一郎 氏
 衆議院議員 城内実 氏
 イギリス事務局 ゼリー・ゲリン 氏
 ヌシャテル市長 ファビオ・ボンジュヴァニ 氏
 新城市長 穂積亮次
 ニューキャッスル会議実行委員会 委員長 田村太一
 内容●共同声明の発表、ユースからの提案発表
 テノール歌手の前川健生氏、和太鼓集団『志多ら』、ニューキャッスル吹奏楽団による演奏
 鳳来東小学校によるアルプホルン演奏、スイスヌシャテル合気道チーム演武
- 16:20 はなのき広場の櫨の前で集合写真
 20年前の新城サミット開催を記念して植えられた櫨の前で写真撮影
- 16:30 フェアウェルパーティー 会場●新城文化会館 はなのき広場
- 19:00 クロージングセレモニー 会場●新城文化会館 展示室

Day 7 10月9日(火) 各都市帰国

市民歓迎セレモニー

新城へようこそ。新城市長、穂積亮次です。皆様を心より歓迎いたします。海を越えて、はるばる新城にお越しくださった皆様に、市民を代表して、友情と敬意を表したいと思えます。

私たちのアライアンスは20年前、新城で生まれました。当時、7カ国8都市から新城に集まり、今では14カ国16都市まで広がりました。同じ時代を生きる人々が、国境を越えて、様々な課題に向き合い、相互協力しています。(会議期間中に、モンテネグロ、ヘルツェグ・ノヴィが加盟し、15カ国17都市となりました。)

日本では、「名は体を表す」ということわざがあります。名前がそのものの実体を言い表すという意味です。

新たな城を作り上げる希望を込めて、先人は私たちの町をニューキャッスル(新城)と名付けました。私たちはその思いを引き継ぎ、町の発展を願って、ここに集まりました。

この20年間で、世界は身近になり、国境を越えて、人や物の移動も多くなりました。また、インターネットは私たちの生活や考え方を変えました。新しいコミュニケーションの技術は言語の壁も取り除きました。20年後、このような動きは一層進み、想像を超えた新しいつながりを生み出すでしょう。そして、ニューキャッスル・アライアンスも世界大交流時代へと向かっていくこととなるでしょう。その中で、同じ名前を持った都市だということにとらわれず、私たちが築き上げてきた不思議な絆は、より固く結ばれることとなるでしょう。

歓迎あいさつ

新城市長
穂積 亮次



この一週間の中で、代表団の皆様と東三河企業が交流できる場を準備いたしました。また、教育と観光の分野も発展が必要となってきています。

かつて、お城は城塞として敵からの攻撃を守る役割を果たしていましたが、今では外と私たちをつなぐ拠点となりました。

私たちのアライアンスはどのような役割を果たして、市民にどのような価値をもたらすことができるか、この10年、20年先も共に考えていきましょう。そして、ニューキャッスルの市民へ世界とつながることの素晴らしさを伝え、ニューキャッスルのつながりを広めて下さった皆様に感謝を申し上げます。

最後に、数日前に大規模な台風が、この地域を直撃したことをお伝えしなければなりません。停電、断水、土砂崩れ、木が倒れて道路が通行止めになるなど、今なお、台風の爪痕が残っています。海外からお越しの皆様にご不便をおかけすることがあるかもしれませんが、新城市民の心からのおもてなしは、台風に打ち勝つことができると信じております。皆様に、新城での滞在を楽しんでいただけるよう、誠心誠意を尽くして参ります。ありがとうございました。

(和文のみ掲載)



歓迎あいさつ

ニューキャッスル
アライアンス事務局
ゼリー・ゲリン氏



穂積市長、新城市の皆様、世界中から集まっていたいただいたニューキャッスルの皆様、あたたかく歓迎していただき、ありがとうございます。

新城市の皆様が一つになり、20周年記念を迎えることになりました。

同じ名前を持つそれぞれの都市と友好関係を結び、共通の課題や、地域にメリットを生み出すことを考えてきました。私たちの小さな行動が国境の壁を超え、相互理解へとつながります。

私たちは様々な点で共通することがあります。美しい景観、歴史や発展・産業で重要な役割を果たしていること、お城などの特別な建物、温かく迎えてくれる人々など多くのことがあげられるでしょう。私たちはお互いに共有できることや学べることが沢山あります。

すでにご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、前新城市長が世界中のニューキャッスルを結びつけることを提案しました。そして、その会議に参加した方は20年前にこの地を訪れました。いま、この会場には、過去の会議を主催した方もいらっしゃいます。また、アライアンスの新しいメンバーやはじめて訪れた方もいらっしゃいます。

私たちは、皆が政治家ではありません。ビジネス、芸術、教育、観光、NPO、自治体などニューキャッスルの様々な分野を代表しています。私たちは様々な小さなコミュニティの集まりのアライアンス（同盟）です。メリットを生み出すことができれば、政治家も支援してくださり、私たち自身が主導権を握ることもできるでしょう。

そして、若者も代表団の一員として参加しています。昨年、新城がはじめてのユース会議を開催してくださったことに感謝致します。学校・大学で勉強している生徒や学生、そしてまだ仕事をはじめてから数年しか経っていないユース会議参加者はこの数日間、プロジェクトを通して、新しい友達を作り、新しいスキルを学ぶでしょう。

また、新城で今年も会議を開催していただき、感謝申し上げます。新城の美しさに触れて、会議でディスカッションができることを楽しみにしています。（和文のみ掲載）

来賓あいさつ

愛知県知事
大村 秀章氏



皆様おはようございます。愛知県知事の大村秀章です。ようこそ日本へ、そして愛知・新城へ。

1998年に新城で初回が開催されましたニューキャッスル・アライアンス会議が、20周年を迎えられましたことにお祝いを申し上げます。この節目の年に、この会議が新城で開催されることを嬉しく思います。

共通点はほぼ名前だけという自治体の会議を継続してやっていけるのかな、というのが20年前当時の私の正直な感想でございました。ところが、幸いなことに、どうやら私が間違っていたようです。

さて、愛知県は、世界トップクラスの製造業の集積があり、その中でも、新城市を含めたこの東三河地域は、輸送機器の製造拠点の一つとして知られています。さらに、花き・野菜の有数な産地でもあり、加えて、豊かな自然や史跡、伝統芸能、そして食文化など、多彩な魅力にあふれています。

皆様におかれましては、会議やツアー、市民参加型プログラムなどを通じてこの地域をご堪能いただきたいと思えます。また、文化体験やディスカッションに積極的に参加いただき、アライアンスを高められますよう期待しております。

地域レベルでの国際的なアライアンスは、ウィン・ウィンの関係構築に繋がります。こうしたことから、愛知県は、18の国や地域と公式なパートナーシップを締結し、グローバルな経済活動や、若者の交流、学術交流などを推進しているところです。

ニューキャッスル・アライアンスが、今後も発展を続け、お互いの成長と繁栄へとつながりますこと、また、今回の会議が有意義なものとなりますことを心から祈念します。愛知・新城をどうぞご堪能ください。

（和文のみ掲載）

市民送別セレモニー

本日は市民送別セレモニーに参加できたことを、光栄に思っております。ご招待いただきありがとうございます。

私は中世史の愛好者です。そして私にとってヌシャテルという名前の由来はとても興味深いものです。なぜならその名前は千年前にさかのぼることができるからです。ルドルフ3世（ブルグント王）は、自分の旧居、「ノヴァム・カッセラム」（ラテン語で新しい城という意味）が海を越えて世界中に知られるようになったことにきっと驚くことでしょう。

国際関係は主に政治、貿易、政策に関することを指しますが、人と人との関係でもあります。ニューキャッスル・アライアンスは市民のイニシアティブであり、外交関係を強化するためにも地域と個人の深い関わりが重要なものとなります。

ヌシャテルでは、スイスと日本の間で、友好関係を深めてきた人々が沢山いらっしゃいます。有名な三名をご紹介させて頂きたいと思います。

エメ・アンベール氏は、政治家であり、ビジネスマンでもありました。1862年に江戸に向かい、スイスと日本の間で日瑞修好通商条約を交渉して、スイス時計製造業を横浜に輸出しました。

マルセル・ジュノー氏は、赤十字国際委員会の駐日主席代表として、原爆が落ちた直後に広島に駆けつけた外国人医師でした。

デイディエ・ビュルカルテ氏は1998年にヌシャテルの代表として新城を訪問しました。2014年にはスイスの大統領として日本・スイス国交樹立150周年記念を祝うために再来日しました。

来賓あいさつ

スイス駐日大使
ジャン＝
フランソワ・パロ
閣下



連邦主義のもとで育ったスイスの人々は、地域に愛着を持っています。そして、スイスと日本の関係を祝うために、現在、スイス・グランドツアーのプロジェクトを手がけています。デジタルマップを使って両国間の様々な地域の歴史、文化、経済を紹介したいと考えています。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、グランドツアーを通して、新城とヌシャテルの友好関係を紹介したいと思っています。

ヌシャテル湖の反対に面しているヴァリーで育った私は、ファビオ・ボンジュヴァニ市長とヌシャテル市民が2020年に皆様をお迎えすると伺い、大変嬉しく思っております。

新城市の皆様、心のこもったおもてなしをありがとうございました。そしてニューキャッスル・アライアンスが素晴らしい20周年を迎えられたことを祝福するとともに、ニューキャッスル・アライアンス及びスイスと日本の関係が末長く続くことを願っています。（和文のみ掲載）



市民送別セレモニー

来賓あいさつ

衆議院議員

城内 実氏



私は環境副大臣をしております城内実と申します。

新城市から車を30分走らせたところに私の選挙区があり、ニューキャッスル・アライアンスの主催者でいらっしゃいます穂積亮次市長を以前から存じ上げておりました。また、私が元外務省の職員そして外務副大臣だったこともあり、この素晴らしい第11回ニューキャッスル・アライアンスのお手伝いさせていただきました。新城市という小規模の市でこれほど大きな会議ができたことを、穂積市長をはじめ関係の皆様にあたためて敬意と感謝を申し上げたいと思います。

私も10年ドイツに住んでおりましたが、今日私の第二の故郷のドイツからノイブルグアンダーナウの方々が参加していると聞いて大変嬉しく思います。またそれだけでなく、世界13か国15都市の仲間がこの新城に集まっていたことは本当に素晴らしいことだと思います。

ニューキャッスルの都市は国や文化、言葉は異なりますが、かつての先人が軍事拠点としてどこがいいかと考えたときに、一番土地柄もよく、勢いのありそうなところということで、ニューキャッスル・新城を拠点としたと言われておりますので、今日まで発展してきたのではないかと思います。

そういった言葉や文化が違えども同じ共通点があるこの『ニューキャッスルズ』が、お互いこれからも協力しあうことは大変素晴らしいことです。

この6日間のプログラムで外国からこられた参加者の皆様におかれましては日本の文化、あるいは新城のまわりの奥三河の色々な文化や風物に触れられたと思います。これからも、新城そして日本のことを忘れずにこの街と日本との架け橋としてご活躍いただきたいと思っております。

来賓あいさつ

衆議院議員

今枝 宗一郎氏



ニューキャッスル・アライアンス会議に、これだけ多くの市民の方や、各国の代表の方が参加され、これだけ盛大に行われたことに私も地元の一人としてとても嬉しく思います。

街と街の交流、国同士での政治ではなかなかうまくいかないことも、街と街がつながり、人と人がつながれば、わたしたち人類の叡智やまた新しい様々な課題の解決策が生まれます。全世界的にも珍しいニューキャッスル・アライアンス会議が、様々な国際的、地域的な課題があるなかで新しい解決策を提示していただけると私は確信しています。

今回のテーマであるビジネスや観光や教育、また様々なテーマも大事ですが、やはり私が一番大事だと思うのは、新城の美味しいご飯やお酒を一緒に頂き、そして互いに笑う。このような、文化や時間を共有したという経験だと思います。先ほどの志多ら（和太鼓演奏集団）の演奏が皆様の心を打ったように、心がつながればこれからどんなに距離が離れていても、オンラインで話すことができます。

この関係がずっと続き、国際的、地域的な課題にも新しい解決策を新しい城らしくどんどんと打っていけることを心から期待して私のご挨拶といたします。

市民送別セレモニー

ヌシャテル代表団をあたたかく歓迎していただき、感謝申し上げます。新城市では、親友のように迎えられ、とても光栄に存じます。私はここで「親友」という言葉を使う理由は、ウィリアム・バトラー・イエイツが述べたように「ここには他人はいない。まだ出会っていない友がいるだけだ。」と思うからです。

ニューキャッスル・アライアンス会議は、新城市の提唱により始まり、今回の会議では13カ国15都市が集まりました。ニューキャッスル・アライアンスは日本の桜のように毎年花を咲かせます。ニューキャッスルの都市はそれぞれ異なりますが、様々なプロジェクトを実行し、交流と相互理解をサポートしてきました。しかし、私たちはより具体的なプロジェクトを市民に提供していく必要があります。少数の市民に興味を持っていただくのではなく、大勢の方々にアライアンスを支援して頂きたいと思っております。私たちは今回の会議でも、様々な課題に真剣に向かい合い、実りのあるディベートやディスカッションを行ってきました。このようなニューキャッスル・アライアンスの成果を、市民に目に見える形で示すことができると信じています。

穂積市長、新城市のシンボルは桜の木と松の木であることは偶然ではないでしょう。この二つ木は特殊な木です。桜の木は満開に花を咲かせ、松の木は緑豊かな枝葉をつける。この二つの木は季節とともに変化し、生命の象徴です。

次回開催都市 市長あいさつ

スイス・ヌシャテル市長
ファビオ・
ボンジュヴァニ 氏



日本では、「人生は風前の灯火」ということわざがあります。私たちはデリケートなロウソクの火を守るようにニューキャッスル・アライアンスを大切にしていかなければならないと思います。

さて、2020年にヌシャテルで皆様を迎えることを楽しみにしています。スイスの魅力を皆様にお見せしたいです。私たちの絆を強め、お互いにプロジェクトを進めていき、相互理解を深められればと思います。

新城市での会議をきっかけに、都市間で、経済、文化、観光、教育の分野において成果を生み出すと信じています。新城市からのすばらしい歓迎を感謝いたします。

どうもありがとうございました。ヌシャテルで会いましょう。
(和文のみ掲載)



市民送別セレモニー

閉会あいさつ

ニューキャッスル
アライアンス事務局
ゼリー・ゲリン氏



スイス駐日大使ジャン＝フランソワ・パロ様、市長の穂積様、新城市の皆様、素晴らしい会議を開催頂き、ありがとうございます。この会議に参加できたことを光栄に思います。

新しい友情、つながり、機会を求め、私たちは集まり、ニューキャッスル・アライアンスの取り組みについて真剣に向き合ってきました。

20周年を迎えるこのアライアンス会議では、文化、教育、観光、経済に関する様々な課題に向き合い、アライアンスの方向性について考えました。そして次回スイス・ヌシャテル市で行われる会議に向けて、各分野における様々なプロジェクトに共に取り組むことに合意しました。

これから、私たちは、未来に向けて、前に進みます。

この素敵な町の温かい歓迎やおもてなしに感動いたしました。ニューキャッスル・アライアンス事務局の代表として感謝申し上げます。ありがとうございました。

(和文のみ掲載)

閉会あいさつ

新城市長
穂積 亮次



お集まりの皆さん、1週間に及ぶ濃密な時間をここ日本・新城で共にした20周年のニューキャッスル・アライアンス会議がいよいよ幕を閉じようとしています。今回のプログラムを準備し、運営したすべての新城市民実行委員会のスタッフ、ボランティアの協力者、スポンサー企業、市職員などなどが、何よりも心がけてきたことが一つあります。それは海を越えてお越しいただいたすべての代表団の皆さんが、無事笑顔でそれぞれのニューキャッスル市に帰られ、ご家族や同僚たちに迎えられることです。皆さんは新城市とそこで行われたアライアンス会議の思い出を、笑顔をもって記憶にとどめていただくことができたでしょうか。

ニューキャッスル・アライアンスはわれわれにとってなくてはならない絆です。この絆を強めるためにできるすべての努力を傾注することをお伝えし、あらためて世界のニューキャッスル市民に連帯の気持ちを表明して主催都市を代表しての挨拶とします。ありがとうございました。そして2年後、スイス・ヌシャテルで再会を果たしましょう。



ディスカッション

代表者会議

代表者会議①

日 時 ● 2018年10月3日(水) 19:00～20:00

場 所 ● 湯谷観光ホテル 泉山閣

参加者 ● 26名(うち日本人 2名)

参加国 ● オーストラリア、カナダ、デンマーク、ドイツ、ラトビア、マレーシア、スロバキア、南アフリカ、スイス、モンテネグロ、イギリス(アポン・タイン)、イギリス(アンダー・ライム)、アメリカ(インディアナ)、アメリカ(ペンシルベニア)、日本

代表者会議②

日 時 ● 2018年10月7日(日) 13:00～15:00

場 所 ● 新城市役所 政策会議室

参加者 ● 26名(うち日本人3名)

参加国 ● オーストラリア、カナダ、デンマーク、ドイツ、ラトビア、マレーシア、スロバキア、南アフリカ、スイス、モンテネグロ、イギリス(アポン・タイン)、アメリカ(インディアナ)、アメリカ(ペンシルベニア)、日本

議 題

1. 共同声明の内容を確定させること。
2. メンバーシップについて定義づけること。



ファシリテーター：穂積市長[右]



10月3日の会議の様子



10月7日の会議の様子

決定事項

1. 各テーマ別ディスカッションで提言された内容を共同声明に盛り込む。
2. メンバーシップを下記の通り定義づける。
 - 負担金を支払うメンバーはコアメンバー、支払わないメンバーは準メンバーとしてみなす。
 - コアメンバーでかつ自治体のリーダーシップや支援が保証されているメンバーは、直面課題において投票権を2票持つ。
 - コアメンバーで、自治体の支援が無い場合は、投票権は1票。準メンバーは投票権を持たない。

会議 一般の部(文化)

ディスカッション①

テーマ 文化

日時 ● 2018年10月4日(木) 14:00~16:30

場所 ● 新城文化会館 大ホール

参加者 ● 171名(うち日本人99名)

※外国人参加者：【一般の部】 55名
【ユースの部】 17名

参加国 ● オーストラリア、カナダ、デンマーク、ドイツ、ラトビア、マレーシア、スロバキア、南アフリカ、スイス、モンテネグロ、イギリス(アポン・タイン)、アメリカ(インディアナ)、アメリカ(ペンシルベニア)、日本



ファシリテーター：ウォルター(ドイツ)



ファシリテーター：キャロル(スイス) ※日本事務局

議題

1. ユースの報告
2017年のユースアライアンスで開発が決まったアプリについて
2. 20年間のアライアンスの振り返り
「Newcastles of the world」出版、「Newcastles of the world cook book」出版、「Newcastle letter」発刊「Newcastle passport」仕組が達成された等
3. 文化交流
アーティストの交換留学、展示会 は他のニューキャッスルの認知度アップにつながる。アーティストの交換、レジデンス制度(住んで活動)、合同演奏、ミュージックフェスティバルに参加招待など。



10月4日の会議の様子

決定事項

- アーティストの相互交流を促進する。
- 異なるニューキャッスル間の展示を促進する。

会議 一般の部(観光)

ディスカッション②

テーマ 観光

日時 ● 2018年10月6日(土) 9:00~12:00

場所 ● 愛知県民の森 会議室

参加者 ● 62名(うち日本人10名)

参加国 ● カナダ、デンマーク、ドイツ、ラトビア、マレーシア、スロバキア、南アフリカ、スイス、モンテネグロ、イギリス(アポン・タイン)、アメリカ(インディアナ)、アメリカ(ペンシルベニア)、日本



ファシリテーター：ゼリー(英国アポントイン)



ファシリテーター：サネ(デンマーク)

議題

1. ニューキャッスル都市間の観光促進について(グループディスカッション)
2. ニューキャッスルパスポートとの推進について(グループディスカッション)
3. 11のグループに分かれ、議論し、以下の提案がなされました。
 - お城訪問 ○近場のつながりを活かす
 - ニューキャッスル・フェスティバル(飲食)を実施する ○メディアにお祭りの取材を依頼する
 - 映画を作る ○ニューキャッスルに関する演劇を上演する
 - アプリを通じて情報発信する ○シンボルを作る ○ニューキャッスルの日を制定する
 - 他の都市へ訪問し、プレゼンを行う ○ポストカードでアピールする
 - コンテストを行う ○Youtubeチャンネルを作る ○教員の交流
 - 小学校訪問 ○ニューキャッスルに関するプロジェクト
 - ニューキャッスルのバーチャルツアーを作成する



10月6日の会議の様子

決定事項

- ニューキャッスルの日を制定する。
- ニューキャッスルフェスティバル(飲食)を実施する。

会議 一般の部(教育)

ディスカッション③

テーマ 教育

日時 ● 2018年10月7日(日) 9:00~12:00

場所 ● 新城市役所 会議室

参加者 ● 61名(うち日本人12名)

参加国 ● オーストラリア、カナダ、デンマーク、ドイツ、ラトビア、スロバキア、南アフリカ、スイス、モンテネグロ、イギリス (アポン・タイン)、アメリカ(インディアナ)、アメリカ(ペンシルベニア)、日本



ファシリテーター：キャロル(スイス)※日本事務局



ファシリテーター：ダニエル(スイス)

議題

1. オンラインプラットフォームについて ● 安全性の確保。活用され続ける工夫が必要。既存のサイトを活用もしくはユースアプリに付加。
2. 他のニューキャッスルを知るについて ● 学生がショートムービーをアップロードする。英はカリキュラムがタイトで学校では不可能。日本が生徒会等で実施する提案など。
3. 学生の交換制度について ● 南アフリカ代表の校長先生が「いつでも受け入れの用意がある」と提案。ドイツ代表がロータリーのユースエクスチェンジスキームを利用して、ニューキャッスルの学生を交換するのはどうかという提案。
4. 企業研修生交換制度について ● イギリス代表団のキャロラインがニューキャッスル大学の生徒を派遣する提案。日本代表団が、JETプログラムを通じてニューキャッスルの若者を雇うことができる可能性を示唆。
5. 教師のコラボレーションについて ● オンラインプラットフォームでしやすくなる。



10月7日の会議の様子

決定事項

- 具体的なオンラインプラットフォームを構築し、学生や教師の交換制度実現に向けて導く。
- 他のニューキャッスルから学ぶをデンマーク主導で実施する。具体的にはユーチューブチャンネルを作り、そこで紹介しあう。

会議 一般の部(経済)

ディスカッション4

テーマ **ビジネス**

日時 ● 2018年10月8日(月・祝) 9:00~12:00

場所 ● 新城文化会館 大会議室

参加者 ● 76名(うち日本人22名)

参加国 ● オーストラリア、カナダ、デンマーク、ドイツ、ラトビア、スロバキア、南アフリカ、スイス、モンテネグロ、イギリス(アポン・タイン)、アメリカ(インディアナ)、アメリカ(ペンシルベニア)、日本



ファシリテーター: キャロライン(英国アポンタイン)



ファシリテーター: 浅井一志(新城市出身 愛知県庁職員)

議題

1. 次回会議以降のビジネス交流会の開催について
2. 企業情報のデータベース化について
3. 研修生、従業員、学生の交換制度について
4. ビジネス関連の特別ツアーについて



10月8日の会議の様子

決定事項

- ロードマップ作成
- 2年後のスイスでも同様にビジネス交流会を実施する。
- 地域の国際的・代表的な企業をリサーチ(5社程度)を選び事務局に報告すること。
1週間後にとりまとめること。(10/15まで)
日本については穂積市長に要相談。
そして、企業情報をアライアンスHPに掲載、データベース化。
- 各ニューキャッスルが市内観光会社や観光協会等に依頼して、経済と歴史をテーマとした旅行プランを作成する。

会議 ユースの部(アプリ開発)

ユース会議

テーマ ユースアプリ

参加国 ● オーストラリア、ラトビア、マレーシア、スイス、イギリス(アポン・タイン)、アメリカ(インディアナ)、日本

日 時 ● 2018年10月6日(土) 9:00~12:00 場所 ● 愛知県民の森
ユース参加者数 55名(うち日本人37名)
通訳ボランティア 18名

日 時 ● 2018年10月7日(日) 9:00~12:00 場所 ● つくで交流館
ユース参加者数 49名(うち日本人32名)
通訳ボランティア 18名

日 時 ● 2018年10月8日(月) 9:00~12:00 場所 ● 新城市文化会館 301講習室
ユース参加者数 59名(うち日本人42名)
通訳ボランティア 18名

※通訳ボランティアは愛知大学生、愛知県立大学生及びOSG株式会社からのボランティアです。



ファシリテーター：
ティア(デンマーク)



ファシリテーター：
タイッサ(ブラジル) ※日本事務局



<http://new-castle.sakura.ne.jp/index.html>

議 題

1. ニューキャッスル都市間の観光促進について
魅力的なアプリの構成、内容とは
2. ワークショップ形式でディスカッションをし、最終日の発表までに準備



会議の様子(於：愛知県民の森)



会議の様子(於：つくで交流館)

決定事項

- 観光情報を各カテゴリーにわけて投稿する。
- ニューキャッスルパスポートの情報を盛り込む。
- ホームステイできる家庭の情報を盛り込む。
- アプリの名前を「Conneastle(コネクスル)」とする。



共同声明



Newcastles of the World Conference, Shinshiro 2018: Joint Communiqué

Delegations from fifteen different Newcastles gathered in Shinshiro, Japan, from the 3rd October to the 8th October. Following the original initiative of Shinshiro City, Japan, we have continued to exchange views and have deepened understanding, friendship and solidarity among us. We have succeeded in establishing and maintaining an international network connecting our towns and cities for the mutual benefit of our citizens.

On behalf of our respective Newcastles, we met at this the 20th Anniversary Conference and renewed commitment. We discussed how to take our Alliance forward, looking to the future, collaborating in particular in the fields of Culture, Education, Tourism and Business. In parallel to the main conference a youth conference was held – Today's Youth: Tomorrow's Newcastles. The youths presented their agreed actions to the main conference.

We agreed to use our best endeavours to progress the following programme:

1. To develop a number of achievable, concrete projects on the key conference themes. The Secretariat was tasked with having a co-ordination role, working with members, facilitating and providing support in taking the projects forward during the period leading to the next bi-annual conference (see Annex II).
 - a. We recognise that not every project will be able to embrace each member, and encourage collaboration between individual members, including town twinning.
2. To work together to promote the Newcastles Passport, our existing scheme, designed to increase opportunities for tourism between our Newcastles, encouraging opportunities to experience each other's cultures, languages and places.
3. To support our young people in progressing specific project development following the idea to create a youth tourism app, which was generated at the first global youth conference, held by Shinshiro in December 2017.
4. To support and develop a small number of initiatives, designed to create more youth-friendly Newcastles.
5. To raise awareness of the Alliance in pupils from a young age.
6. To encourage our members to agree that all delegations to future conferences should include youth delegates, with a guideline of at least 25% of the delegation numbers.
7. To support services that recognise an ageing population, meeting their needs but recognising the experience that older people have and the contribution that they can make.
8. To pursue opportunities for collaboration in applying for EU and international funding, commencing with the EU Europe for Citizens programme, under the Network of Towns category.
9. To develop a stronger focus on sharing information, knowledge and best practice.
10. To improve communications between us by:
 - a. Having nominated contact points among officers, politicians and relevant individuals and agencies who guarantee to take initiatives, provide information and respond promptly and positively.
 - b. Creating greater content and functionality in our online presence with clear links from our municipality websites to Newcastles of the World.
 - c. Sharing a range of appropriate promotional material that can be used in our individual information centres, online and for exhibitions.
11. To adopt the attached proposal regarding membership of Newcastles of the World (see Annex I).
12. To welcome and accept the invitation extended by Neuchatel, Switzerland, to host the twelfth conference in 2020.
13. To approve the invitation extended by Nyborg, Denmark, to host the thirteenth conference in 2022.

Annex I

In accordance with the Alliance's aims to promote friendship between the members and to develop projects of mutual benefit, and in order to strengthen the Alliance and ensure its durability, the following is agreed as a definition of membership:

1. Members who pay fees are regarded as core members, and those who do not pay a fee are associate members. Core members are: Shinshiro, Neuchâtel, Neuburg, Jaunpils, Nové Zámky, Nyborg, Nové Hradky, Newcastle Canada, Newcastle South Africa, Newcastle upon Tyne.
2. Core members where leadership and support of the municipality is guaranteed will have two votes on business issues. Core members without municipal support will have one vote, and associate members will not have a vote on business issues.
3. The admission of any new core members in the future must be agreed by a two third majority of those who make up the core members at the time of an application.
4. No more than two additional associate members will be admitted at each conference.

Annex II

Throughout the sessions, we agreed on the following top two projects in each conference theme that we would like to implement:

1. Culture - Project I: Promote exchange of artists
2. Culture - Project II: Promote exhibitions among the different Newcastles
3. Tourism - Project I: Hold a Newcastles of the World day
4. Tourism - Project II: Hold a Newcastles Festival (Food and beverages)
5. Education - Project I: Create an online platform to facilitate communication and co-operation, leading to exchanges of teachers, students, pupils
6. Education - Project II: 'Learning from other Newcastles', commencing with the creation of a YouTube Channel, a school project led by Nyborg, Denmark.
7. Business - Project I: Promote our local companies through the organization of a Business fair at each Conference and by keeping an online database with their details.
8. Business - Project II: Organizing exchanges of trainees, employees and students through a project approach.
9. Business - Project III: Provide bespoke business and cultural tourism travel packages for the visitors to and from other newcastles.

Moreover, we agree to accept the findings of the Youth Conference, details of which will be circulated afterwards.

Shinshiro City, Japan

Herceg Novi, Montenegro

Newcastle, New South Wales,
Australia

Nové Zámky, Slovakia

Village of Newcastle, Clarington,
Canada

Newcastle, South Africa

Nyborg, Denmark

Neuchâtel, Switzerland

Neuburg an der Donau, Germany

Newcastle-upon-Tyne, UK

Jaunpils, Latvia

New Castle, Indiana, USA

Kota Bharu, Malaysia

New Castle, Pennsylvania, USA

共同声明(和文)

10月3日から9日までの間、世界15のニューキャッスルから代表団が新城市に集まりました。日本、新城市の主導で始まり、相互理解や友好関係、連帯感を深めてきました。

私たちは市民にとって有益となるようお互いの市町をつなぐ国際的なネットワークを築き、維持することに成功しました。

ニューキャッスルを代表して、私たちはこの20周年の記念会議で集い、約束をあらたにしました。私たちはどのようにアライアンスを前進させるか、未来に目を向けて、文化・教育・観光・ビジネスの分野でどのように協働するかを話し合いました。

一般の部の会議と同時に、ユース会議、「今日の若者・明日のニューキャッスル」が開かれました。若者は合意した行動計画を一般会議で発表しました。(副文Ⅱ)

私たちは下記のプログラムを発展させるために努力を尽くすことを合意しました。

1. 会議テーマに沿った実現可能な具体的なプロジェクトを増やすこと。事務局は次の会議までにメンバー都市間と協働し、コーディネイトすることが課された。
私たちは、すべてのプロジェクトにおいてすべての都市が関わると限らないことを認識している。
2. ニューキャッスル間の観光交流の機会創出と促進のために、お互いの文化、言語、地域を体験するために作られたニューキャッスルパスポートという既存の仕組みを発展させるために協働すること。
3. 2017年12月に開かれたユースアライアンス会議で発表されたユース観光アプリの開発のような具体的なアイデアを進める若者をサポートすること。
4. ユースに親しまれるニューキャッスルを作ることを目的とする計画をサポートすること。
5. 児童・生徒たちにもアライアンスを周知させること。
6. 今後の会議において、ユースの参加率を25%以上にすることを奨励する。
7. 老人人口を視野に入れたサービスを支援すること。老人のニーズを満たしながら、彼らの経験や社会貢献を評価するサービス支援すること。
8. EU及び国際的な資金調達に応募するための機会を追求する。
9. 情報共有、知識や成功事例の共有を強化する。
10. 私たちは、コミュニケーションを促進させるために、以下のことをする。
 - (1) コンタクトパーソン、政治家、関係者を決めて、その人が主導権を取って情報を提供し素早く前向きに回答する。
 - (2) 自分の都市の紹介をニューキャッスルのウェブサイトリンクして、よりよい内容、機能を作る。
 - (3) オンラインや展示会や情報センターなどで使える適当な

広告情報を共有する。

11. ニューキャッスルオブザワールドのメンバーシップにかかわる提案を採用する。(副文Ⅰ)
12. スイス・ヌシャテルが2020年に第12回会議に招待することを歓迎し、受け入れること。
13. デンマーク・ニイボーグが2022年に第13回会議に招待することを歓迎し、受け入れること。

[副文Ⅰ] アライアンスの目的に沿うためにメンバー間の友好関係を促進して、相互利益をもたらすプロジェクトを開発して、同盟を強化し、持続性を確保するために、次のことをメンバーシップの定義とします。

1. 運営費を払う会員はコアメンバーとみなされ、運営費を払わない会員は準会員である。コアメンバーは、新城、ヌシャテル、ノイブルグ、ヤンピルス、ノヴェザムキー、ニイボーグ、ノヴェフラデー、ニューキャッスル・カナダ、ニューキャッスル・南アフリカとニューキャッスル・アボン・タイン。
2. 自治体のリーダーシップとサポートが保証されているコアメンバーは、運営上重要事項について2つの票を得ます。自治体のサポートを受けていないコアメンバーは1票の投票権を持ち、準会員は運営上重要な事項について投票する権利はありません。
3. 今後の新しいコアメンバーの入会は、申請時にコアメンバーを構成する人の2/3の大多数が合意する必要があります。
4. 各アライアンス会議で2都市以上の準会員が入会できることはできません。

[副文Ⅱ] 各会議のテーマで私たちは次のプロジェクトを実施したいと合意しました。

1. 文化-プロジェクトⅠ: アーティストの相互交流を促進する。
2. 文化-プロジェクトⅡ: 異なるニューキャッスル間の展示を促進する。
3. 観光-プロジェクトⅠ: 「ニューキャッスルの日」を制定する。
4. 観光-プロジェクトⅡ: ニューキャッスルフェスティバル(食べ物と飲み物)を実施する。
5. 教育-プロジェクトⅠ: 教師、学生、生徒の交流に導くようなコミュニケーションと協力を促進するためのオンラインプラットフォームを作成する。
6. 教育-プロジェクトⅡ: デンマークのニイボルグが率いる学校プロジェクトであるYouTubeチャンネルの制作を活用し「他のニューキャッスルから学ぶ」。
7. ビジネス-プロジェクトⅠ: ビジネス情報をデータベースで管理し、各アライアンス会議においてビジネスフェアを実施し、地元企業をプロモーションする。
8. ビジネス-プロジェクトⅡ: プロジェクトを通じて研修生、従業員、学生の交換制度をつくる。
9. ビジネス-プロジェクトⅢ: ニューキャッスル間を行き来するビジネスや文化や観光の特別ツアーを組む。
さらに私たちはユースセッションの報告提案を受け入れ共有します。

Day 1 10月3日 水

● 各都市来日

中部国際空港、豊橋駅で各国代表を迎えました。



ラトビア代表团(中部国際空港にて)



豊橋駅でアメリカ代表团を迎えました

● 東三河散策

チェック・インまで時間のあるグループは、豊川稲荷に訪れたり湯谷温泉で抹茶体験をしました。



豊川稲荷にて



湯谷温泉で抹茶体験

● 代表者会議①

場所 ● 湯谷観光ホテル 泉山閣
時間 ● 19:00~20:00

Day 2 10月4日 木

● 市民歓迎セレモニー

会場 ● 新城文化会館 大ホール
時間 ● 9:30~11:50

● 吹奏楽演奏

演奏 ● ニューキャッスル吹奏楽団
演目 ● オリンピックスピリット



吹奏楽演奏

● 歓迎挨拶



新城市長 穂積 亮次



ニューキャッスル会議実行委員会
実行委員長 田村 太一

● ニューキャッスル・アライアンス事務局 挨拶



ニューキャッスル・アライアンス事務局
ゼリー・ゲリン 氏

● 来賓挨拶



愛知県知事 大村 秀章 氏

● 各都市からのプレゼンテーション

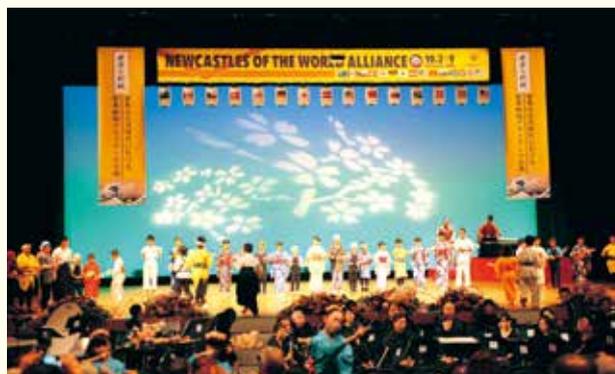
参加した都市が順番に壇上に上がり、各都市の概要やまちの歴史、文化、魅力などをプレゼンしました。写真や動画を駆使して、各都市や新城市民に説明しました。



各都市からのプレゼンテーション

● 新城の小学生の演舞と合唱

新城市のプレゼンの際は、市内の舟着小学校の児童が「さくらさくら」に合わせて日本舞踊を踊ったり、鳳来寺小学校の児童が新城市にちなんだ歌「鳳来寺山のブッポウソウ」を発表しました。



新城市内の小学生による発表

● 「さくらの街から」合唱

奥三河音楽連盟が合唱しました。



● 世界のニューキャッスル料理

会場 ● 新城文化会館 はなのき広場
 時間 ● 12:00～14:00

豊橋調理製菓専門学校との協力により、ニューキャッスル各都市の料理やスイーツを再現しました。外国人参加者だけではなく、市民の皆さんにも、召し上がっていただきました。市内全小学校（13小学校）の6年生も交流しました。



名古屋テレビ報道番組UPで放送された様子



ニューキャッスル料理に参加した小学生との集合写真

● ディスカッション① **テーマ** 文化～過去20年間の振り返りと今後の文化交流～

会場 ● 新城文化会館 大ホール
 時間 ● 14:00～16:30

● ジャパニーズフェスティバル

会場 ● 新城文化会館 展示室
 時間 ● 16:30～17:30



日本の文化を体験できるイベントで、市民ボランティアと新城市文化協会と一緒に企画しました。着物の着付け体験や書道、墨絵、剣玉、折り紙、篠笛、琴などの体験ブース等を設けました。和菓子業者にも協力して頂き和菓子も提供しました。体験型のものは評判がよく、新城市のインバウンド観光のカギになると実感しました。



● 歓迎パーティー湯谷ナイト

会場 ● 湯谷温泉
時間 ● 19:00～21:00

宿泊場所であった湯谷温泉発展会の協力のもと、歓迎パーティーを開催しました。温泉街には露店が並び、地元の食材も使った料理が振舞われました。旅館としてもこれだけ多くの外国人を対応した経験はなく、小麦粉アレルギー対応や外国人の接し方について今後の参考になったという感想がありました。



プレゼント交換時の
ヌシャテル市長[左]と新城市長[右]



紅太鼓の演奏の後、太鼓体験をしました。



● 体験型ツアー

○ 奥三河ビューティーツアー

日本で唯一、ファンデーションの原材料となる鉱石セリサイトの産出を手がける企業、三信鉱工株式会社の坑道を見学しました。地元の天然素材にこだわったバスボム手作り体験をしました。そして奥三河の「奇祭」花祭を体験しました。

スケジュール Schedule	新城出発	三信鉱工見学	廃校レストランランチ	花祭見学	新城到着
	09:00	10:00	12:00	13:00	16:00
	Depart Shinshiro	Sanshin Mica Mining Tour	Lunch at Sugamori	Hana Matsuri Festival	Arrive back at Shinshiro



三信鉱工



バスボム作り体験



廃校レストランランチ



花祭り体験

● 体験型ツアー

○ 京都ツアー

インバウンド先進地の1つである京都に訪れ、「観光」について議論する素材を集めました。また、新城から日帰りできる強みを認識できました。

スケジュール Schedule	新城出発	京都散策	新城到着
	07:00	11:00	21:00
	Depart Shinshiro	Walk around Kyoto	Arrive back at Shinshiro

Day 4 10月6日 土

● ディスカッション② 時間 ● 9:00～12:00

【一般の部】 **テーマ** 観光 会場 ● 愛知県民の森
 【ユースの部】 **テーマ** アプリ開発 会場 ● 愛知県民の森

● 体験型ツアー

時間 ● 13:00～

○ 酒づくり体験ツアー

場所 ● 関谷醸造



○ 侍コース

場所 ● 設楽原歴史資料館

日本の歴史に詳しいオーストラリア人講師が、資料館で長篠・設楽原の戦いについて解説しました。また甲冑体験も楽しみました。



○ バスケット観戦コース

場所 ● 豊橋市総合体育館

ニューキャッスル・アライアンスの協賛企業であるオーエスジー株式会社の協力のもと、愛知県豊橋市を本拠地とする三遠ネオフェニックスのバスケットの試合を観戦しました。



● 東三河経済交流会

会場 ● ホテルアークリッシュ豊橋

時間 ● 18:00～20:00

市内企業をはじめ東三河の38の事業所が参加し、外国人参加者に企業情報を提供することができました。また、2年後のスイス・ヌシャテル市の会議でもビジネスフェアが開催されることとなりました。



Day 5 10月7日(日)

● ディスカッション③ 時間 ● 9:00～12:00

【一般の部】 **テーマ** 教育 会場 ● 新城市役所 会議室
【ユースの部】 **テーマ** アプリ開発 会場 ● つくで交流館

一般の部

● 代表者会議②

時間 ● 13:00～15:00

会場 ● 新城市役所 政策会議室

※代表者会議に出席しない方は
富永神社例大祭を見学しまし
た。

● 富永神社例大祭

時間 ● 13:00～

会場 ● 富永神社

新城市富永神社で開催される例大祭において、外国人参加者がお祭り関係者の協力のもと神輿かつぎを体験しました。休憩中に市内の小学生が学校で習った英語を使ってデンマークからの参加者に「どこから来たの？ 名前はなんて言うの？」と一所懸命にコミュニケーションを図る姿も見られました。



ユースの部

● ランチ

時間 ● 12:00～13:00

会場 ● つくで交流館

市民団体のつくでキッチンクラブに協力していただき昼食をとりました。
地元の食材を使った料理を食べながらコミュニケーションを図りました。



● つくりんピック

時間 ● 13:00～15:00

会場 ● つくで交流館

新城の作手地区の小学生から高校生、大人まで交流できるつくりんピック(ミニ運動会)を開催しました。外国人参加者と市民混合チームで行われ、スポーツを通じて国際理解を深めました。



一般の部・ユースの部

● 富永神社手筒花火

時間 ● 18:00～20:00

会場 ● 富永神社

ニューキャッスル・アライアンス会議オリジナルの法被を着て、手筒花火を観覧しました。

『NEW CASTLE』仕掛け花火にも歓声が起こりました。



● ディスカッション④ 時間 ● 9:00～12:00

【一般の部】 **テーマ** ビジネス 会場 ● 新城文化会館 大会議室
 【ユースの部】 **テーマ** アプリ開発 会場 ● 新城文化会館 301講習室

● 市民送別セレモニー

時間 ● 13:30～16:00

会場 ● 新城文化会館 大ホール

● 和太鼓演奏

演奏 ● 志多ら

演目 ● 息吹
煮淵



● 来賓挨拶



スイス駐日大使
ジャン=フランソワ・パロ 閣下



衆議院議員
城内 実氏



衆議院議員
今枝 宗一郎氏

● ニューキャッスル・アライアンス事務局 挨拶



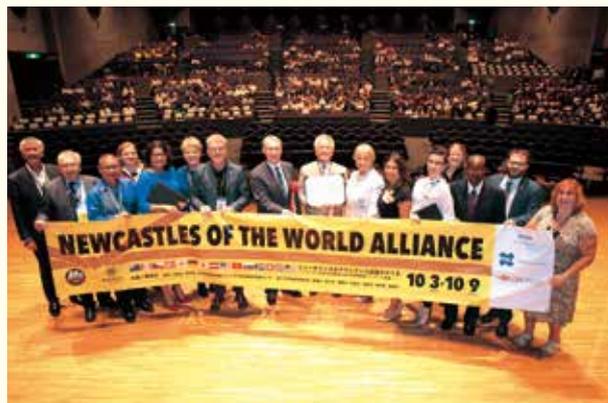
ニューキャッスル・アライアンス事務局
ゼリー・ゲリン 氏

● ユース発表

観光アプリ開発に向けたディスカッションのまとめを発表しました。



● 調印式ならびに共同声明発表



● 鳳来東小学校 アルプホルン演奏・合唱

演目 ● おしえて

2年後の会議が、スイス・ヌシャテル市で開催されるため、スイスを象徴する楽器アルプホルンの演奏と、スイスを舞台としたアニメ『アルプスの少女ハイジ』の主題歌を合唱しました。



● ヌシャテル・ライオンズクラブ紹介

新城ライオンズクラブとペナント交換を行いました。



● スイス・ヌシャテル市長挨拶



スイス・ヌシャテル市長
ファビオ・ボンジュヴァニ 氏

● 大会旗引継ぎ

新城市長からヌシャテル市長へ旗が渡されました。その後、友情ブローチを交換しました。



● ヌシャテル市合気道チーム 演武発表



● テノール歌手 前川 健生 氏 演奏

演目(3曲)

- 荒城の月
- 誰も寝てはならぬ
- Time to Say Goodbye

※Time to Say Goodbyeでは
ソプラノ歌手 矢野千佳 氏と
共演されました。



● ふるさと合唱

演奏 ● ニューキャッスル吹奏楽団、
前川健生、矢野千佳ほか

ドイツからの外国人参加者が飛び入りでニュー
キャッスル吹奏楽団の演奏に参加しました。一緒に
「ふるさと」を演奏し、文化交流をすることができ
ました。



● 市長挨拶



新城市長 穂積 亮次

● 閉会宣言



ニューキャッスル会議実行委員会
実行委員長 田村 太一

● 記念樹の前で記念撮影

会場 ● 新城文化会館
はなのき広場

時間 ● 16:20～16:30

第1回ニューキャッスル・サミットの開催を記念して、植樹された記念樹の檜の前で、集合写真を撮影しました。



● フェアウェル・パーティー

会場 ● 新城文化会館 はなのき広場

時間 ● 16:30～19:00

皆で焚火を囲み、音楽を聴きながら、参加者全員が一つになることができました。



● クロージング・セレモニー

会場 ● 新城文化会館 展示室
時間 ● 19:00～20:00

この会議で皆が集う最後のイベントでした。2年後の再会を願いながら、最後のひと時を楽しみました。



Day 7 10月9日 火

● 各都市代表帰国



ニューキャッスル・アライアンス会議2018 市民参画者数

◆準備期間中

千郷中学校ウェルカムムービー出演者数(中学3年生)	115
こども園カウントダウンボード出演者数(全こども園など)	715
児童クラブ 手旗作成者数(全児童クラブ)	413
新城小学校手旗作成(全学年)	342
千郷小学校ウェルカム動画作成&ドイツへの事前学習と発表 5年生がドイツについて学習し、全校集会で発表 6年生が動画 作成し、ドイツにプレゼント	589
東郷西小学校(丸筒12人+国旗60人)	72
東郷東小学校(丸筒184人)	184
舟着小学校(国旗20人)	20
八名小学校(国旗34人)	34
鳳来中部小学校(国旗23人)	23
黄柳川小学校(国旗57人)	57
東陽小学校(カナダとのスカイプ) 小学校5~6年生	32
八名中学校 外国人参加者おもてなし	39
作手小学校(丸筒14人)	14
新城高校 園芸デザイン科3年生	22
新城高校美術部	15
新城東高校美術部	20
一般旗作成者(市内親子)	5
新城市ほうらい吹奏楽団 第14回定期演奏会 世界のニュー キャッスル便 出演者	45
鳳来中学校 新城イチバン総選挙アンケート	50
ニューキャッスルパスポート加盟店	14
国際交流出前授業	222
合計	3,042

◆市民歓迎セレモニー【10/4】

歓迎セレモニー参加者(外国人参加者を除く)	474
世界の料理交流イベント参加小学生(市内小学校6年生など)	450
歓迎お出迎え小学生(新城小1~5年生)	290
歓迎イベント出演者(吹奏楽団・合唱団、Jフェスなど)	210
豊橋調理製菓専門学校生(世界の料理提供)	111
Jフェス和菓子出店者	7
ボランティア(一般)	11
OSGボランティア	13
大学生通訳ボランティア	5
合計	1,571

◆ディスカッション①【10/4】

参加者数(外国人参加者を除く)	99
-----------------	----

◆湯谷ナイト【10/4】

参加者数(外国人参加者を除く)	74
OSGボランティア	5
大学生通訳ボランティア	5
紅太鼓出演者	8
合計	92

◆ツアー【10/5】

ボランティア	4
OSGボランティア	3
大学生通訳ボランティア(事務作業)	1
合計	8

◆ディスカッション②【10/6】

大人参加者数(外国人参加者を除く)	10
ユース参加者数(外国人参加者を除く)	37
ボランティア	2
OSGボランティア	10
大学生通訳ボランティア	8
豊川高校写真部	5
合計	72

◆同伴者ツアー【10/6】

協会ボランティア	4
----------	---

◆東三河経済交流会【10/6】

参加者数(外国人参加者を除く)	76
OSGボランティア	13
大学生通訳ボランティア	8
合計	97

◆ディスカッション③【10/7】

大人参加者数(外国人参加者を除く)	12
ユース参加者数(外国人参加者を除く)	32
ボランティア	4
豊川高校写真部	3
合計	48

◆つくりんピック【10/7】

日本人ユース	17
小学生	16
中学生	15
高校生	4
大人	5
ボランティア	15
大学生通訳ボランティア	9
つくてキッチンクラブ	8
OSGボランティア	9
豊川高校写真部	3
合計	101

◆同伴者ツアー【10/7】

協会ボランティア	4
----------	---

◆ライオンズ炊き出し【10/7】

炊き出しスタッフ	38
参加者数	200
合計	238

◆スイス合気道 ホームステイ【10/7】

ホームステイ先 日本人人数	86
---------------	----

◆ディスカッション④【10/8】

大人参加者数(外国人参加者を除く)	22
ユース参加者数(外国人参加者を除く)	42
ボランティア	5
OSGボランティア	13
豊川高校写真部	3
合計	82

◆同伴者ツアー【10/8】

協会ボランティア	2
----------	---

◆市民送別セレモニー【10/8】

送別セレモニー参加者(外国人参加者を除く)	530
フェアウェルパーティー(外国人参加者を除く)	280
送別イベント出演者(吹奏楽団・小学校・志多らなど)	120
ボランティア	5
大学生通訳ボランティア	7
OSGボランティア	9
合計	951

◆スイス合気道 やまびこの丘合同練習及びBBQ

伊東道場	25
ホームステイ先	38
合計	63

◆スイス合気道 ホームステイ【10/8】

ホームステイ先 日本人人数	86
---------------	----

◆スイス合気道 ホームステイ【10/9】

ホームステイ先 日本人人数	86
---------------	----

◆ニューキャッスル・アライアンス会議関連企画 新城現代アート展

参加アーティスト	4
参加高校生(新城高校・新城東高校美術部)	35
参加者数	250
合計	289
総合計(延べ人数)	7,021

加盟都市 一覧(世界地図)



- 
1 オーストラリア
 ニューキャッスル・ニューサウスウェールズ
Australia Newcastle, New South Wales
- 
2 カナダ
 クラリントン
Canada Village of Newcastle, Clarington
- 
3 デンマーク
 ニイボーグ
Denmark Nyborg
- 
4 ドイツ
 ノイブルグ
Germany Neuburg an der Donau
- 
5 ラトビア
 ヤンピルス
Latvia Jaunpils
- 
6 マレーシア
 コタバル
Malaysia Kota Bharu
- 
7 スロバキア
 ノヴェザムキー
Slovakia Nové Zámky
- 
8 南アフリカ
 ニューキャッスル
South Africa Newcastle

- 
9 スイス
Switzerland ヌシャテル
 Neuchâtel
- 
10 モンテネグロ
Montenegro ヘルツェグ・ノヴィ
 Herceg Novi
- 
11 イギリス
U.K. ニューキャッスル・アボン・タイン
 Newcastle-upon-Tyne
- 
12 イギリス
U.K. ニューキャッスル・アンダー・ライム
 Newcastle-under-Lyme
- 
13 アメリカ合衆国
U.S.A. ニューキャッスル・インディアナ
 New Castle, Indiana
- 
14 アメリカ合衆国
U.S.A. ニューキャッスル・ペンシルベニア
 New Castle, Pennsylvania
- 
15 チェコ共和国
Czech Republic ノヴェフラディ
 Nové Hradý
- 
16 ジョージア
Georgia アハルツィヘ
 Akhaltsikhe
- 
17 日本
Japan 新城
 Shinshiro

1 オーストラリア

ニューキャッスル・ニューサウスウェールズ

Australia

Newcastle, New South Wales



人口/Population
322,278
面積/Area
261.8 km²

美しいオーストラリアの海岸の活気に満ちた港町ニューキャッスルは、ビーチ、安い物価、温暖な気候、自由なライフスタイルが特徴であり、ニューサウスウェールズ州の州都シドニーより車で3時間ほど北に位置する。また、石炭造船業の街として知られており、レストラン、カフェ、公園、庭園、アートギャラリー、ショッピングセンターなどがある自然豊かなニューサウスウェールズ州で2番目に大きな都市である。



2 カナダ

クラリントン

Canada

Village of Newcastle, Clarington



人口/Population
9,167
面積/Area
7.08 km²

1973年にボウマンビル、クラーク、ダーリントンが合併し創設された。創設当初はニューキャッスルという名であったが、混乱を避けるため1994年にクラリントンに改称。クラリントンはクラーク、ダーリントンを合わせた混成語。トロントから東へ80キロの場所に位置し、絵画のような街で、緩やかに起伏している丘陵、農場、そしてマリーナが美しく、多くのヨットファンを魅了している。このマリーナでは、毎年夏に木製ボートフェスティバルが行われている。



3 デンマーク

ニイボーグ

Denmark

Nyborg



人口/Population
32,000
面積/Area
278.0 km²

「ニイボーグ」はニイボーグ城として、1193年に初めてデンマークの歴史文献に登場し、町自体は、1202年に登場した。1413年まで立法と司法の場として、ニイボーグ城が使われていたので、この期間までは首都であったと考えられている。ニイボーグでは風情のある古くからのショッピング街や、野外のシアターなどを楽しむことができる。



4 ドイツ

ノイブルグ

Germany

Neuburg an der Donau



人口/Population
29,587
面積/Area
81.32 km²

ドイツ連邦共和国バイエルン州中西部、ドナウ河畔の平野に開けた、歴史の古い美しい景観の城塞都市である。文化財が多くあり、それらの貴重な遺産を保存するために努力している。郊外にはドイツ空軍の基地がある。ドイツ国内には「ノイブルグ」という名の地名が複数あるため、それらと区別するために「an der Donau」（「ドナウ川沿いの」の意）が付けられる。



5 ラトビア ヤンピルス

Latvia Jaunpils



人口/Population
2,800
面積/Area
210.2km²

ヤンピルスのシンボルは、14世紀に建てられた城で、ヤンピルスの財産でもある。城は図書館の役割だけではなく、そこでプロの集団によってイベントが行われ、観光客も魅了している。城、ルーテル教会(1801年に建てられた)水車場などがヤンピルスの文化と歴史の中心となっている。産業は主に農業と食品加工である。



6 マレーシア コタバル

Malaysia Kota Bharu



人口/Population
314,964
面積/Area
115.64km²

マレー半島の北東部・クランタン州の州都であるコタバルは、タイ国境に近い人口約50万人の港町である。マレー系、中華系、インド系など様々な民族が暮らす多民族国家のマレーシアにおいて、住民の大多数がマレー系であるコタバルは、マレー文化が色濃く残る街として知られている。またマレーシア国内で最もイスラム色が強いといわれている。



7 スロバキア ノヴェザムキー

Slovakia Nové Zámky



人口/Population
39,585
面積/Area
72.565km²

ノヴェザムキーは首都ブラチスラヴァから約100km離れており、ハンガリー国境へは25kmほどである。南スロバキアの、鉄道のハブ駅としても有名である。ノヴェザムキーでは、ハンガリーとスロバキアの料理が融合した食事を楽しむことができる。



8 南アフリカ ニューキャッスル

South Africa Newcastle



人口/Population
363,000
面積/Area
75.79km²

ニューキャッスルはクワズール・ナタール北部の商業・産業の中心地であり、州で3番目に大きな都市。ニューキャッスルは1864年に創立され、当時の植民地大臣であった、イギリスのニューキャッスルの伯爵にちなんで、この名がついた。



9 **スイス**
ヌシャテル

Switzerland
Neuchâtel



人口/Population
33,712
面積/Area
18.05km²

スイス最大規模を誇るヌシャテル湖の北端にあり、ヌシャテル州の州都。「新しい城」を意味する地名のように、10世紀末に建てられた丘の上にそびえる古城の下に町がつくられていった。城に隣接する12世紀建立のコレジアル教会、歴史的な市庁舎や現在はグルメレストランになっている18世紀の優美な邸宅、独特の黄色がかかった石で造られた建物が並ぶ旧市街など、今でも随所に中世の面影を感じることができる。



10 **モンテネグロ**
ヘルツェグ・ノヴィ

Montenegro
Herceg Novi



人口/Population
33,034
面積/Area
235.0km²

アドリア海沿岸の都市で、コトル湾の入り口、オリエン山の麓に位置している。数世紀に渡りヴェネツィア共和国領アルバニア・ヴェネタに属したヘルツェグ・ノヴィは、イタリア語でカステルヌオーヴォ（新しい城という意味）と呼ばれていた。ヘルツェグ・ノヴィはモンテネグロ有数の観光名所で、滞在型スパと健康センターが有名である。その他、ボスニア王トヴルトコ1世が1382年に建設したフォルテ・マーレ城、19世紀にオーストリア人が建てた時計塔、トルコ人が建てたカンリ塔、城内のベラヴィスタ広場にはセルビア正教会の大天使ミカエル教会がよく知られている。



11 **イギリス**
ニューキャッスル・アポン・タイン

United Kingdom
Newcastle-upon-Tyne



人口/Population
259,573
面積/Area
113.0km²

ノーサンブリア州の州都であり、イングランド北部最大の町。町の歴史は2000年以上前にさかのぼり、ローマ時代にはすでにタイン川に橋がかけられ、ハドリアヌスの城壁の最北端であった。ニューキャッスルと呼ばれるようになったのは11世紀。町の由来となった城壁は、現在でも鉄道駅の横にその姿を留めている。



12 **イギリス**
ニューキャッスル・アンダー・ライム

United Kingdom
Newcastle-under-Lyme



人口/Population
122,040
面積/Area
211.0km²

イギリス、イングランド中西部、スタッフォードシャー県北西部の都市。周辺を含めてニューカッスルアンダーライム地区を構成する。ペナイン山脈南端部西麓、バーミンガムとリバプールのほぼ中間に位置する。市の名前は1145年頃チェスター伯が建てた新しい城（ニューキャッスル）に由来。



13 アメリカ合衆国 ニューキャッスル・インディアナ

United States New Castle, Indiana



人口 / Population
18,114
面積 / Area
19.10km²

このニューキャッスルは1823年に創立され、ケンタッキー州ニューキャッスルにちなんで名付けられた。地形は平坦で緑が多く、犯罪の極めて少ない町である。ニューキャッスルには『ニューキャッスル・フィールドハウス』という世界最大の高校の体育館があり、多くのバスケットボールスター選手を輩出している町でもある。



14 アメリカ合衆国 ニューキャッスル・ペンシルベニア

United States New Castle, Pennsylvania



人口 / Population
23,273
面積 / Area
22.1 km²

なだらかな起伏の少ない丘陵地に開けた町で、大学や病院などの施設が整ったアメリカの典型的な地方都市である。アメリカ合衆国ペンシルベニア州ローレンス郡の中心都市。ピッツバーグ市の北西50マイル(80km)に位置し、ペンシルベニア州とオハイオ州の州境近くにある。「世界のホットドッグの首都」と「世界の花火の首都」とも呼ばれている。チリ・ドッグは、20世紀初期に移り、家屋と共にレストランを作ったギリシャ系移民の産物である。花火はS・ビタル・パイロテクニク・インダストリーズとザンベリ・インターナショナルという国際的に知られた2社によってその名声を得た。



15 チェコ共和国 ノヴェフラディ

Czech Republic Nove Hradý



人口 / Population
2,600
面積 / Area
79.68km²

南ボヘミア地方にあり、オーストリア国境付近のまちである。この町が初めて記述されたのは1279年のことである。当時ノヴェフラディは交易路を守るためにヴィートコヴィツェ家によって建てられた城のある小さな町として知られていた。城は郊外に建設され、堀で囲まれていた。第二次世界大戦直後、この町はチェコスロバキア軍に占領され、その後はロシアの占領下にあった。しかし1989年に民主化され、新しい時代の幕開けとなり、ノヴェフラディでは、遺産や美しい自然への関心が高まり、観光産業が発展した。

※今回の会議には参加していません。



16 ジョージア アハルツィヘ

Georgia Akhaltzikhe



人口 / Population
17,903
面積 / Area
1,010km²

アハルツィヘは、ボツホヴィ川をはさんで北岸が旧市街、南岸が新市街になっている。ロムジアの名でも知られる。1576年にオスマン帝国領となり、1628年からは同国のアハルツィヘ州の中心都市になった。露土戦争中の1828年にロシア軍により征服され、翌年のアドリアノーブル条約の結果、ロシア帝国領となった。アハルツィヘは、17世紀に隆盛を誇ったオスマントルコの影響が強く残っておりアルメニア人、ユダヤ人が多く居住している。

※今回の会議には参加していません。



17 日本 新城

Japan Shinshiro



人口 / Population
47,084
面積 / Area
499.23km²

愛知県の東部、東三河の中央に位置し、東は静岡県に接している美しい自然が多く残る町である。桜や紅葉が美しく「三河の嵐山」とも呼ばれる桜淵公園をはじめ、霊鳥仏法僧(コノハズク)の棲む山として全国的に知られ、国の名勝にも指定されている鳳来寺山など、市域に広がる国定公園・県立公園の指定区域には、特徴ある地形や豊かな植生、美しい景観が点在して訪れる人を魅了している。このほか、夏でも涼しくレジャースポットとして人気のある作手高原、1,300年の歴史を誇る湯谷温泉、春の桜まつり・古城まつりや秋のみじまつりなど四季折々のイベントがある。



外国人参加者紹介



Irini Kassas
Australia



Jane Black
Canada



Christine McSorley
Canada



Jill D. Richardson
Canada



Jennifer Stycuk
Canada



William Woo
Canada



Sanne Hoffensetz Andresen
Denmark



Troels Malthé Borch
Denmark



Tia Bjørnholt Christiansen
Denmark



Lene Dahlstrøm
Denmark



Betina Østergreen Knudsen
Denmark



Peter Wagner Møllerup
Denmark



Martin Stenmann
Denmark



Anne Friemel
Germany



Walter Friemel
Germany



Markus Haninger
Germany



Bettina Häring
Germany



Alfred Hornung
Germany



Erna Hornung
Germany



Gabriele Kaps
Germany



Marieluise Kühnl
Germany



Elfriede Müller
Germany



Peter Schöpfel
Germany



Peter Wiedemann
Germany



Renate Wiedemann
Germany



Rüdiger Vogt
Germany



Michael Stadler
Germany



Olga Dimitriadou
Germany



Pēteris Baranovskis
Latvia



Tina Birģele
Latvia



Ligita Gintere
Latvia



Anete Grāvite
Latvia



Ketija Keita Krastiņa
Latvia



Karlina Leimane
Latvia



Kristīne Liepiņa
Latvia



Aleksandra Mertena
Latvia



Baiba Rasa
Latvia



Nikola Smeltere
Latvia



Hasnina Binti Hassan
Malaysia



Mahiram Binti Husin
Malaysia



Azman Bin Mohd Daham
Malaysia



Maimun Binti Mohd Hussain
Malaysia

外国人参加者紹介



Wan Abdullah Hassan Bin Wan Azmi
Malaysia



Đorđe Vasilevski
Montenegro



Simonida Kordic
Montenegro



Katarína Hozlárová
Slovakia



Mária Ficza Szombat
Slovakia



Daniel Mabuyakhulu
South Africa



Dumisani Msibi
South Africa



Buthanani Goldenblessing Shange
South Africa



Fabio Bongiovanni
Switzerland



Jérôme Bueche
Switzerland



Chloé Caldevilla
Switzerland



Elio Francisco
Switzerland



Elyes Hammami
Switzerland



Caroline Meyer
Switzerland



Marco Paolini
Switzerland



Marc Renaud-dit-Louis
Switzerland



Jean-Marc Sandoz
Switzerland



Daniel Veuve
Switzerland



Rémy Voirol
Switzerland



Paul Farrelly
UK: Newcastle-under-Lyme



Eddie Chappel
UK: Newcastle-upon-Tyne



Zélié Guérin
UK: Newcastle-upon-Tyne



Esther Kirk
UK: Newcastle-upon-Tyne



Rozita Leetham
UK: Newcastle-upon-Tyne



Mary Nicholls
UK: Newcastle-upon-Tyne



John Nicolaou
UK: Newcastle-upon-Tyne



Mariam Pamsm-Conteh
UK: Newcastle-upon-Tyne



Melissa Scott
UK: Newcastle-upon-Tyne



Caroline Theobald
UK: Newcastle-upon-Tyne



Susan Wilson
UK: Newcastle-upon-Tyne



Breana Endsley
US: New Castle, Indiana



ヌシャテル・ライオンズクラブ



Kelly Grant
US: New Castle, Indiana



Cindy Cochran
US: New Castle, Pennsylvania



Jeff Cochran
US: New Castle, Pennsylvania



ヌシャテル合気道チーム

協賛企業一覧

〈敬称略・順不同〉

企業名	企業名	企業名
本多プラス株式会社	紙ちどり	株式会社大仙
オーエスジー株式会社	株式会社あみや商事	関谷醸造株式会社
株式会社田村組	株式会社桜坂設計	豊橋糧食工業株式会社
三和精機株式会社	三河建設工業株式会社	株式会社平松食品
オーエスジーコーティングサービス株式会社	株式会社相原製作所	ヤマサちくわ株式会社
横浜ゴム株式会社新城工場	株式会社相原製作所	イズテック株式会社
株式会社新城家具販売	大高精工株式会社	豊橋信用金庫
三州建設株式会社	株式会社トンボ鉛筆	イノチオホールディングス株式会社
株式会社ごんだ	株式会社シンシロケーブル	ひまわり農協
よしみや呉服店	JAPANイヤホン製造株式会社	特定非営利活動法人JUMP
新城自然エネルギー株式会社	新城ロータリークラブ	アスカプランニング
愛知東農業協同組合	新城ライオンズクラブ	藤光工業株式会社
株式会社清月	湯谷温泉発展会	株式会社金山
丸利建設株式会社	株式会社筒井工務店	中部電力株式会社電力ネットワークカンパニー新城営業所
株式会社物語コーポレーション	瀧川オブラート株式会社	有限会社・保険コンサルタント
豊橋鉄道株式会社	株式会社中部	新城交通有限会社
株式会社サーラコーポレーション	株式会社ハクヨ・コーポレーション	宇都宮工業株式会社
株式会社トヨテック	株式会社オノコム	株式会社ヒミカ
新城金融協会	小笠原建設株式会社	イチビキ株式会社第1工場
松井建拓株式会社	有限会社伸東電装	株式会社寺部食品
	カワイ製作所	

*協賛金は、今後の経済交流、教育交流で活用させていただきます。(平成31年2月現在)

協力団体一覧

〈敬称略・順不同〉

団体名	団体名
新城市商工会	新城現代アート展アーティストの皆さま
学校法人昌和学園 豊橋調理製菓専門学校	Jフェス出店和菓子屋の皆さま
一般社団法人 奥三河観光協議会	富永神社例大祭関係者
新城市観光協会	長篠・設楽原鉄砲隊
新城市文化協会	かわしん演舞団
新城市国際交流協会ボランティア部会	新城旅館組合
愛知県企業庁	湯谷温泉発展会
市内こども園	児童クラブ&児童館&旗作成者の皆さま
市内小学校	徳川家康と服部半蔵忍者隊
市内中学校	つくでキッチンクラブ
新城高校美術部	紅太鼓
新城高校園芸デザイン科	オーエスジー株式会社通訳ボランティア
新城東高校美術部	愛知大学通訳ボランティア
道の駅もっくる新城	豊川合気会 合気道伊東道場
ニューキャッスル吹奏楽団	ボランティアスタッフ
奥三河音楽連盟	ニューキャッスル・アライアンス会議2018に関わった全ての皆さま

関連企画紹介

現代アート展

ニューキャッスル・アライアンス会議開催期間中、地元出身のアーティストと市内高校の美術部が中心となって、市役所の旧本庁舎を活用した新城現代アート展を開催しました。2018年10月に採択された「共同声明」の中で文化交流として「ニューキャッスル都市間のアーティストの相互交流を促進すること」と「異なるニューキャッスル都市間の展示を促進すること」が明記されました。2年に一度開催されるニューキャッスル・アライアンス会議に合わせて「ビエンナーレ」（2年に1度開催する芸術祭という意味）という形で各都市においてアート展が開催され、都市間のアーティスト交流が盛んになることを期待しています。



スイス写真展

新城市はスイス・ヌシャテル市と姉妹都市提携を結んでおり、ヌシャテル市出身の国際交流員の企画で、幕末のころに来日したスイス人写真家ピエール・ロシエの作品展を新城市役所一階で開催しました。ロシエは来日中に海外へ日本の魅力を伝えたことで知られています。作品展では、横浜、長崎、江戸の風景、木刀を持って教練する兵士、赤ちゃんを抱いた和服の婦人といった当時の写真30点ほど紹介しました。



開催期間：平成30年9月11日～10月12日

こども園と
カウントダウン企画



カウントダウンイベント(6月26日)



千郷西こども園



ママ・サポート子いづみや



新城こども園



作手こども園



大野こども園



山吉田こども園

市内の全こども園と保育施設に協力していただき、開催までのカウントダウン企画を行いました。会議まで、残り100日を切った、6月26日に、市役所1階でカウントダウンイベントを行い、新城こども園の園児が合唱をしました。その後、国際交流員がこども園で、ニューキャッスル・アライアンス会議のことをPRしながら写真を撮影しました。撮影した写真は公式SNSで更新し、開催に向けて市民に周知して機運を盛り上げました。



鳳来こども園



長篠こども園



八名こども園



東郷西こども園



東郷中こども園



東郷東こども園



千郷中こども園



舟着こども園



城北こども園



千郷東こども園



児童発達支援おひさま



つばさ保育園

手作り国旗でお出迎え

新城小学校の1年生から5年生が海外からの参加者をおもてなしするため各都市の手作り国旗を作成し、10月4日、市民歓迎セレモニー前にお出迎えをしました。また、参加者のネームカードを持って、会場へ案内し交流を行いました。また漢字の書かれた手作りペンダントを作成し、外国人にプレゼントしました。新城小学校の児童約275名が参加しました。



1国1小学校おもてなし事業



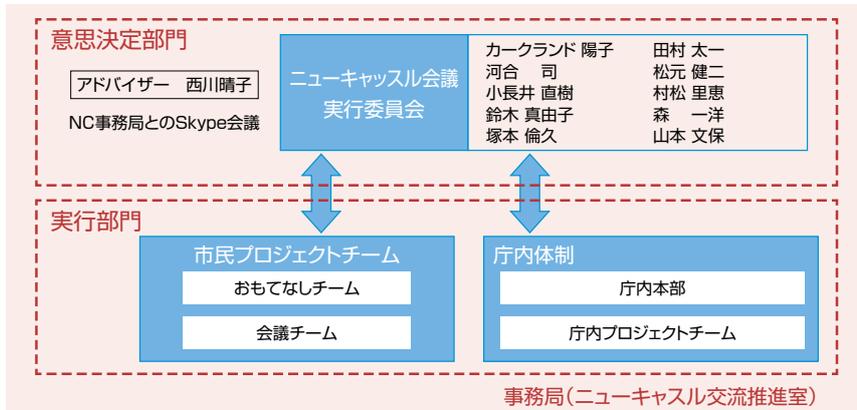
2018年4月現在、ニューキャッスル・アライアンス加盟国は14ヶ国あり、日本を除くと13カ国ありました。市内の小学校も13校あるということで、1つの小学校が1つの国について勉強したり、おもてなしするプロジェクトを企画しました。また、市民歓迎セレモニー後の昼食に、市内全小学校の6年生を招待し、世界のニューキャッスル料理を食べながら、担当した国の参加者と交流しました。
※2018年10月にモンテネグロ、ヘルツェグ・ノヴィが加盟し、加盟国は15か国となりました。

市立東陽小学校とカナダとのスカイプ交流(2018年7月19日)

1国1小学校おもてなし事業として、10月の会議に参加する予定のカナダ人(クラリントン市ニューキャッスル地区)参加者と東陽小学校の5年生、6年生がスカイプを使った交流を行いました。小学生から新城市の紹介や特産品、学校紹介を英語で行いました。小学校とニューキャッスル都市をスカイプでつなげる初めての取り組みとなりました。



ニューキャッスル・アライアンス会議2018 組織体制図



市民プロジェクトチーム会議の様子

ニューキャッスル会議実行委員会 開催日程

3月5日(日)	第1回 実行委員会	19:00~21:00
4月9日(日)	第2回 実行委員会	19:00~21:00
4月23日(日)	第3回 実行委員会	19:00~21:00
5月14日(日)	第4回 実行委員会	19:00~21:00
6月11日(日)	第5回 実行委員会	19:00~21:00
7月9日(日)	第6回 実行委員会	19:00~21:00
7月30日(日)	第7回 実行委員会	19:00~21:00
8月20日(日)	第8回 実行委員会	19:00~21:00
9月10日(日)	第9回 実行委員会	19:00~21:00
9月25日(火)	第10回 実行委員会	19:00~21:00
10月29日(月)	第11回 実行委員会	19:00~21:00



ニューキャッスル会議実行委員会の様子

市民プロジェクトチーム会議 開催日程

ジャパニーズフェスティバルや外国人参加者へのお土産及び会議のテーマ・進行について話し合いを行いました。

●開催日時及び会場

日 時	会 場	日 時	会 場
○平成29年 1月28日 9:00~11:00	新城市勤労青少年ホーム	○平成30年 7月11日 18:00~20:00	新城市役所
○平成29年 4月27日 18:00~20:00	新城市勤労青少年ホーム	○平成30年 7月18日 18:00~20:00	新城市役所
○平成29年 6月30日 19:00~21:00	新城市勤労青少年ホーム	○平成30年 7月31日 19:00~21:00	新城市役所
○平成29年 9月15日 19:00~21:00	まちなみ情報センター	○平成30年 8月2日 18:00~20:00	新城市役所
○平成29年 11月10日 19:00~21:00	まちなみ情報センター	○平成30年 8月8日 18:00~20:00	新城市役所
○平成30年 1月16日 19:00~21:00	まちなみ情報センター	○平成30年 8月22日 18:00~20:00	新城市役所
○平成30年 4月26日 19:00~21:00	まちなみ情報センター	○平成30年 8月31日 18:00~20:00	新城市役所
○平成30年 5月7日 19:00~21:00	新城市役所	○平成30年 9月5日 19:00~21:00	新城市役所
○平成30年 5月14日 19:00~21:00	新城市役所	○平成30年 9月10日 17:00~20:00	新城市役所
○平成30年 5月27日 15:00~17:00	まちなみ情報センター	○平成30年 9月13日 18:00~20:00	新城市役所
○平成30年 6月13日 19:00~21:00	新城市役所	○平成30年 9月19日 19:00~21:00	新城市役所
○平成30年 6月27日 18:00~20:00	新城市役所	○平成30年 9月27日 14:00~15:30	新城市役所
○平成30年 6月28日 19:00~21:00	新城市役所	○平成30年 10月3日 18:00~20:00	新城文化会館 展示室
○平成30年 7月4日 19:00~21:00	新城文化会館 展示室	○平成30年 10月12日 18:00~20:00	新城市役所

メディア取り上げ件数

10月4日 ● 中日新聞



10月5日 ● 東日新聞



10月7日 ● 東愛知新聞



●新聞記事について

掲載日	掲載日/見出し	新聞社名
4月2日	ドローンでウェルカム写真の撮影	東愛知
4月13日	国際交流員来新	東愛知
5月14日	ニューキャッスルアライアンス会議PR	東日
5月19日	アライアンスポスター	中日
5月19日	アライアンスポスター	東日
5月24日	アライアンスPRポスター	東愛知
6月1日	キャロルさんの意気込み	東日
6月2日	国際交流員キャロルさん辞令交付式	東愛知
6月3日	国際交流員キャロルさん辞令交付式	中日
6月20日	20年前の世界新城サミットの写真募集	中日
6月27日	アライアンス会議カウントダウン	中日
6月27日	アライアンス会議カウントダウン	東愛知
6月27日	アライアンス会議カウントダウン	東日
7月20日	東陽小、カナダとのスカイプ会議	東愛知
8月29日	世界新城アライアンス会議	中日
9月2日	図書館でアライアンス関係企画展	東愛知
9月19日	スイス写真展	東愛知
9月20日	スイス写真展	中日
9月22日	9月22日 アライアンスをポロシャツでPR	東愛知
9月27日	ニューキャッスルアライアンス会議商店街パナー	東愛知
10月1日	ニューキャッスルアライアンス会議	東日
10月1日	ニューキャッスル歓迎 ニューキャッスルバスポート	読売
10月3日	ニューキャッスルアライアンス会議	中日
10月3日	新城現代アート展	東日
10月4日	ニューキャッスルアライアンス来日記事	中日
10月4日	ニューキャッスルアライアンス来日記事	東日
10月4日	新城現代アート展	東愛知
10月5日	ニューキャッスルアライアンス会議セレモニー	中日
10月5日	ニューキャッスルアライアンス会議セレモニー	朝日
10月5日	ニューキャッスルアライアンス会議セレモニー	東愛知
10月5日	ニューキャッスルアライアンス会議セレモニー	東日
10月5日	ニューキャッスルアライアンス会議 Jフェス	読売
10月7日	ニューキャッスルアライアンス 長篠・設楽原ツアー	東愛知
10月7日	ニューキャッスルアライアンス会議	東日
10月8日	ニューキャッスルアライアンス ビジネス交流会	東愛知
10月8日	新城LC奉仕活動 カレーの提供	東愛知
10月8日	和菓子の似合う新城(Jフェスでのお菓子の提供)	東愛知
10月10日	ニューキャッスルアライアンス会議送別セレモニー	中日
10月10日	ニューキャッスルアライアンス会議送別セレモニー	東愛知
10月10日	ニューキャッスルアライアンス会議送別セレモニー	東日
1月20日	グローバル愛S(アイス) 国際交流員キャロルさん特集	中日
新聞取上件数合計		41件

●テレビ報道

日付	内容	テレビ局名(番組名)
5月9日	ハローニューキャッスル(加盟国紹介)	ティーズ(いいじゃん新城)
6月13日	ハローニューキャッスル(加盟国紹介)	ティーズ(いいじゃん新城)
6月27日	全力リサーチ(国際交流員キャロル・NC会議の紹介)	名古屋テレビ(ドデスカ!)
7月4日	会議参加者・ボランティア募集	ティーズ(いいじゃん新城)
7月18日	ハローニューキャッスル(加盟国紹介)	ティーズ(いいじゃん新城)
8月29日	ハローニューキャッスル(加盟国紹介)	ティーズ(いいじゃん新城)
9月5日	ニューキャッスルアライアンス会議のお知らせ	ティーズ(いいじゃん新城)
9月12日	ハローニューキャッスル(加盟国紹介)	ティーズ(いいじゃん新城)
9月19日	ハローニューキャッスル(加盟国紹介)	ティーズ(いいじゃん新城)
10月4日	ニューキャッスルアライアンスセレモニー	名古屋テレビ(UP!)
10月4日	ニューキャッスルアライアンス会議開催	NHK(ニュース845東海)
10月17日	ニューキャッスルアライアンス当日の様子	ティーズ(いいじゃん新城)
取上件数合計		12件

●ラジオ報道

日付	内容	ラジオ局名
8月27日	8月27日 NC会議の紹介	NHKラジオ(夕刊ゴジラジ)
8月28日	8月28日 NC会議の紹介	NHKラジオ(ごごラジオ)
9月15日	9月15日 NC会議の紹介	FM豊橋
取上件数合計		3件

ニューキャッスル・アライアンス会議 20年間のあゆみ

《加盟》

日本
イギリス(ニューキャッスル・アンダー・ライム)
スイス、ドイツ、南アフリカ
アメリカ(ペンシルベニア州)
アメリカ(インディアナ州)
フランス



ニューキャッスル・アライアンス会議 2014 in チェコ

《加盟》

イギリス(ニューキャッスル・アポン・タイン)



第1期 新城市若者議会誕生(2015)

《加盟》

カナダ、チェコ、オーストラリア
マレーシア、ラトビア、ジョージア

《加盟》

デンマーク

《加盟》

スロバキア

《加盟》

モンテネグロ

1998

11月 第1回ニューキャッスル・サミット in 日本
7カ国8都市から約60人が集まる。

2000

9月 第2回ニューキャッスル・サミット in スイス

2002

10月 第3回ニューキャッスル・サミット in アメリカ

2005

2月 第4回ニューキャッスル・サミット in 南アフリカ

2006

6月 第5回ニューキャッスル・サミット in イギリス
(ニューキャッスル・アンダー・ライム)

2008

7月 第6回ニューキャッスル・アライアンス会議 in ドイツ
新城市の提案で市民も参加、交流できる会議へと名称を変更。

2010

10月 第7回ニューキャッスル・アライアンス会議 in 南アフリカ

2012

7月 第8回ニューキャッスル・アライアンス会議 in イギリス
(ニューキャッスル・アポン・タイン)
ユース部門が創設され、各国の若者同士が交流することができるようになる。参加した新城の若者が刺激を受け、のちに新城市若者議会を立ち上げるきっかけになる。

2014

5月 第9回ニューキャッスル・アライアンス会議 in チェコ

2016

9月 第10回ニューキャッスル・アライアンス会議 in カナダ

2018

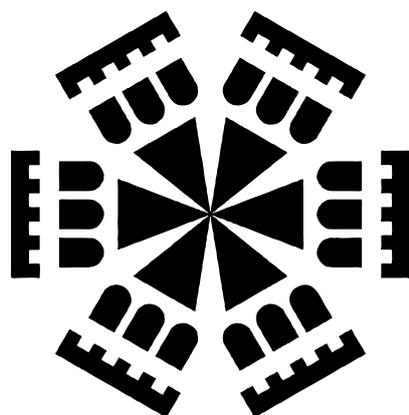
10月 第11回ニューキャッスル・アライアンス会議 in 日本
(20周年記念)

2020

第12回ニューキャッスル・アライアンス会議 in スイス
(開催予定)

2022

第13回ニューキャッスル・アライアンス会議 in デンマーク
(開催予定)



NEWCASTLES

Japan 2018

新城市役所 企画部企画政策課 ニューキャッスル交流推進室

〒441-1392 愛知県新城市字東入船115番地

Phone: 0536-23-7696 E-mail: newcastle@city.shinshiro.lg.jp